

神辺旭高等学校 第3学年 国語科単元指導計画

1 単元名

質問をもとに、本文の内容を読み深めよう。(夏目漱石「私の個人主義」(『精選現代文B』明治書院))

2 単元の目標

- 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価している。

3 単元の計画 (全5時間)

時	主な学習活動
1	本文の前半(第一部)を読む。
2	第二部の内容について、質問の焦点「学習院の学生に向け、「私の個人主義」についての考え方を効果的に講演している」に沿って質問を作る。
3・4	質問をベースにしながら、本文の内容を読み取り、表現効果などを考える。グループで読み取ったことを個人個人が発表する。
5	本文の内容だけでは解決しなかった質問について、教員の提示した補足資料に基づきながら解決を図る。

4 本時の目標

- 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価している。

5 学習の流れ (2～4時間目/全5時間)

学習活動 (○発問, ●予想される生徒の反応)	指導上の留意事項 (◇) ◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て	評価規準 [観点] (評価方法)
質問づくりを行うことを知る。	◇質問づくりの意義や手順を説明する。	漱石の講演の展開、要旨などを理解し、論理性や表現効果を評価している [読むこと] (行動の分析、記述の確認)
質問の焦点「学習院の学生に向け、「私の個人主義」についての考え方を効果的に講演している」を見た上で、本文第二部を黙読する。	◇長めの文章なので、焦点を提示した上で本文を読ませる。 ◇本文で疑問に思う点をメモしておくよう伝える。	
グループで質問づくりを行う。	◇教員のファシリテートにより進行する。	
出てきた質問をもとに、グループで本文の情報で解決できる問いとそうでない問いに分け、本文の情報で解決できるものについては自分たちで答えを考えてA3用紙1枚にまとめる。	◇グループ全員が1人で発表することになることを先に伝え、意欲を喚起しておく。 ◆問いの分類ができない場合は、本文の内容を再度読ませる。 ◆「効果」など、本文をもとに抽象的に考えるものについては、第5時を待ってもよいことを伝える。	
グループのうち、1名が班に残り、他の班員は隣のグループに行く。残った1名が10分程度の発表(質疑応答を含む)をし、その他のものは発表を聞き、評価をする。	◇必ず1人で発表させる。発表の前に5分程度の作戦タイムを取り、質疑応答に耐えられるようにさせておく。ターン制にし、1人が発表をしたら、別の班員がホームグループに戻って発表をするということを4回繰り返す(4人×10班)。 ◇聞き手による評価が重要であるので、しっかりと発表を聞くように伝える。	